

令和 8 年度第 1 回 鳥取支部評議会の概要報告

開 催 日	令和 8 年 7 月 15 日 水曜日 午後 1 時 30 分から 3 時 30 分
開 催 場 所	協会けんぽ鳥取支部 会議室
出 席 者	遠藤評議員、北村評議員、徳田評議員、野川評議員（議長）、 松本評議員、向井評議員、盛田評議員【五十音順】
議 題	1 令和 7 年度 決算報告等について 2 令和 7 年度 事業報告について 3 その他 ・ 中期戦略プランについて
議 事 概 要 (主な意見等)	○議題 1 令和 7 年度 決算報告等について 資料に基づき事務局より説明 資料 1 令和 7 年度 財務諸表 資料 2 令和 7 年度 決算報告書 資料 3 令和 7 年度 全国健康保険協会（健康保険）決算報告書の概要 資料 4 協会けんぽの 2025（令和 7）年度決算見込み（医療分）について [概要] 資料 5 協会けんぽの 2025（令和 7）年度決算見込み（医療分）について 資料 5-1 協会けんぽ鳥取支部の適用・保険給付費の推移 資料 6 協会けんぽ鳥取支部令和 7 年度収支 資料 7 都道府県単位保険料率の平準化措置の取扱いについて 【学識経験者】 令和 7 年度の単年度収支差は 6,795 億円と、毎年準備金が積み上がり続けている。将来に向けて必要なものと承知はしているが、どこまで積み上げるのか。例えば、7.2 か月分を上限とし、超えた分については保険料率の引き下げに回すことはできないのか。子ども・子育て支援金制度も始まり被保険者の負担は増えており、経営者にとっても経営が厳しくなっているため、負担の軽減について検討いただきたい。 【事務局】 ご意見として承る。次回の評議会にて中長期の収支見通しを提示し説明させていただく。

【事業主代表】

準備金残高について、適正な水準をそろそろ決める段階ではないか。

【学識経験者】

現役世代が過大な保険料を納めることによって積み上がっているとも言えるわけで、将来も大事だが、現役世代の現在の負担感も考慮いただきたい。

【被保険者代表】

子ども・子育て支援金も開始され、パーセントにすると僅かなものではあるが、働いている者としては給料から引かれると感じるものがある。負担が軽減されれば当然嬉しいが、社会情勢、国の方針等を踏まえつつ、次回示される収支見通しを基に考えていきたい。

【事業主代表】

2026 年上半期の倒産件数は 5,000 件を超え、人手不足や物価高の理由による倒産件数は上半期での過去最多を更新している。一方で、国の税収は過去最大となり、二極化が進んでいると言える。中小零細企業にとって社会保険料等の負担は重く、国庫補助率の引上げ等により負担が軽減されることを願う。

【被保険者代表】

全国的な春闘の集計結果が公表され改定率は 5%を超えており、鳥取県は 5%には届かないが昨年以上の 4%後半の引上げ率となる見通しである。一方で、保険料や税金等の負担や物価高により賃金が増えている実感はない。保険料等の負担が減れば相対的に手取りは増え、経済活動の活性化にもつながる。そのため、準備金残高について、ここまできたらこうするという基準を示してほしい。また、健診や予防事業等について、より一層推進いただき、その効果が発揮され健康増進や将来的な医療費の削減につながることを期待している。

【被保険者代表】

加入者の平均年齢の上昇や医療の高度化等により保険給付費の継続的な増加が見込まれる状況から、いずれどこかのタイミングで支出が収入を上回ることは免れないであろう。そのときに、どれだけの準備金残高があれば料率は維持する、というような見通しを立てていただくと、将来的にしばらく赤字が続いても料率は維持され安心感につながる。現状、下がったほうが良いが、安易に下げってしまうことで将来にツケを残すようなことがないよう、準備金がある今のうちから保健事業等の更なる推進や必要な措置を講じていくべきである。

【事務局】

協会としては、中長期的に安定した財政運営を目指し、できる限り長く平均保険料率 10%を超

えないようにするという基本的な考え方が前提にある。今後も、将来の見通しを踏まえ財政状況を確認しつつ、保険料率や準備金の在り方については議論を深めていく。

○議題2 令和7年度 事業報告について

資料に基づき事務局より説明

資料8 令和7年度 事業実績報告について

【被保険者代表】

マイナ保険証の普及率について教えてほしい。

【事務局】

マイナンバーカードの人口に対する保有状況は、令和8年2月末時点で81.7%と総務省より公表されている。また、マイナ保険証の利用登録割合については、令和8年4月末時点において、協会けんぽは74.7%、保険者全体では75.8%と厚労省より公表されている。

【事業主代表】

鳥取県は入院医療費が全国平均を上回り、がんの罹患率も高いということで、健診受診率を更に上げて予防、早期発見等していくことが重要と考えるが、例えばふるさと納税の返礼品に人間ドックを用意する等、興味を持ってもらえそうな取り組みを検討してみてもどうか。

【学識経験者】

レセプトの内容点検について、鳥取支部においては支払基金の精度が高く、また、高額査定につながる案件が全国と比較して少ないということであれば、KPI 達成は難しいと思うので、そういった状況を踏まえた評価方法の設定を検討いただきたい。

【事務局】

いただいた意見は本部に投げかけていこうと思うが、まずは、支払基金の審査に関する支部間差異の解消を全国一丸となり基金と向き合っていければと考えている。

【学識経験者】

鳥取支部の入院医療費が全国平均を上回っている理由は何かわかるか。

【事務局】

入院医療費の中でも新生物に関する医療費が全国平均を大きく上回っており、鳥取県のがん罹患率が全国より高いこと等が要因と考えられる。新生物については今後分析を進めていくとともに、医療機関や自治体等の関係機関とも情報交換していきたい。

【被保険者代表】

弊社内でもメンタルヘルス不調者が増えている。メンタルヘルスの実情や社内での対策等について理解を深めていきたいと考えており、メンタルヘルス対策を拡充いただきたい。

【事務局】

今年度について、外部事業者を活用した健康づくり講座を開設しており、メンタルヘルスに関するプログラムも用意している。また、昨年度、鳥取支部は鳥取産業保健総合支援センターと連携協定を結び、今年の3月に職場のメンタルヘルス対策について共催で研修会を開催した。鳥取産業保健総合支援センターにて実施しているメンタルヘルス対策支援サービスもある。今後も鳥取産業保健総合支援センターと連携してメンタルヘルス対策事業を推進する。

○議題3 その他

・中期戦略プランについて

資料に基づき事務局より説明

資料9 中期戦略プランについて

【学識経験者】

支部戦略プランについては次回の評議会で議論するのか。

【事務局】

次回の評議会にて、支部の健康づくり戦略についてご意見をいただく予定である。

特記事項

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・傍聴人：新日本海新聞社記者1名（令和8年7月16日 朝刊に記事掲載）・次回評議会の予定：令和8年10月 |
|---|